

(様式)

社会学委員会社会理論分科会の設置について

分科会等名： 社会学委員会社会理論分科会

1	所属委員会名 (複数の場合は、主体となる委員会に○印を付ける。)	社会学委員会
2	委員の構成	20名以内の会員又は連携会員
3	設置目的	同時代のトレンドを分析する上で「グローバリゼーション」はキーワードとしての地位を確立した。グローバリゼーションの時代は、しばしば、post-societal era あるいは age of post-modernity と規定され、society あるいは modernity 概念の分析上の無効性が宣告されている。society あるいは modernity は、従来の社会理論の骨格を支える基礎概念であった。グローバリゼーションのもとでは従来の社会理論は失効するということなのか。社会理論が復権するには、society あるいは modernity という基礎概念のディコンストラクションから始めることが必須不可欠といえよう。 問われるべきは、21世紀において社会学のアイデンティティはどのような方向に向かって変容される必要があるのか、ということである。
4	審議事項	Nation-state を越えるグローバリゼーションの次元 (supra-national) およびそのセグメントに関わるローカリゼーションの次元 (sub-national) , という二つの次元で生起しつつある新しい諸事象を経験的レファレントとして、21世紀にふさわしい社会理論構築のためのアジェンダを定式化する。
5	設置期間	期限設置 年 月 日～ 年 月 日 <input type="checkbox"/> 常設
6	備考	